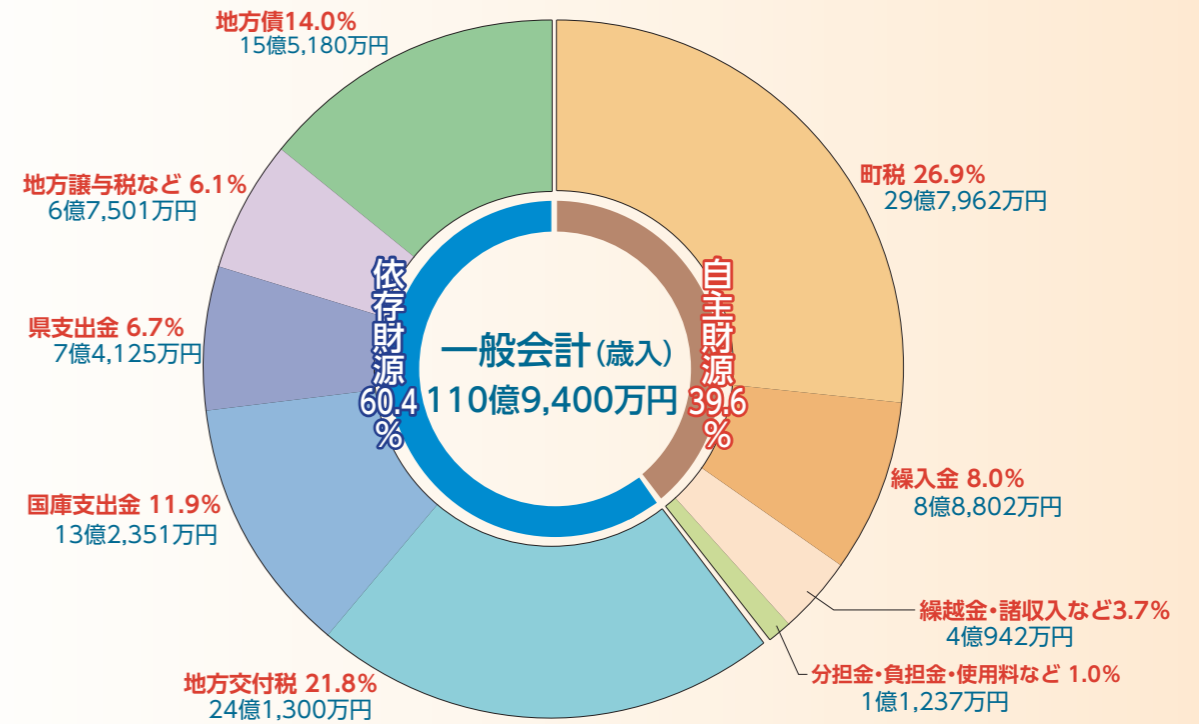
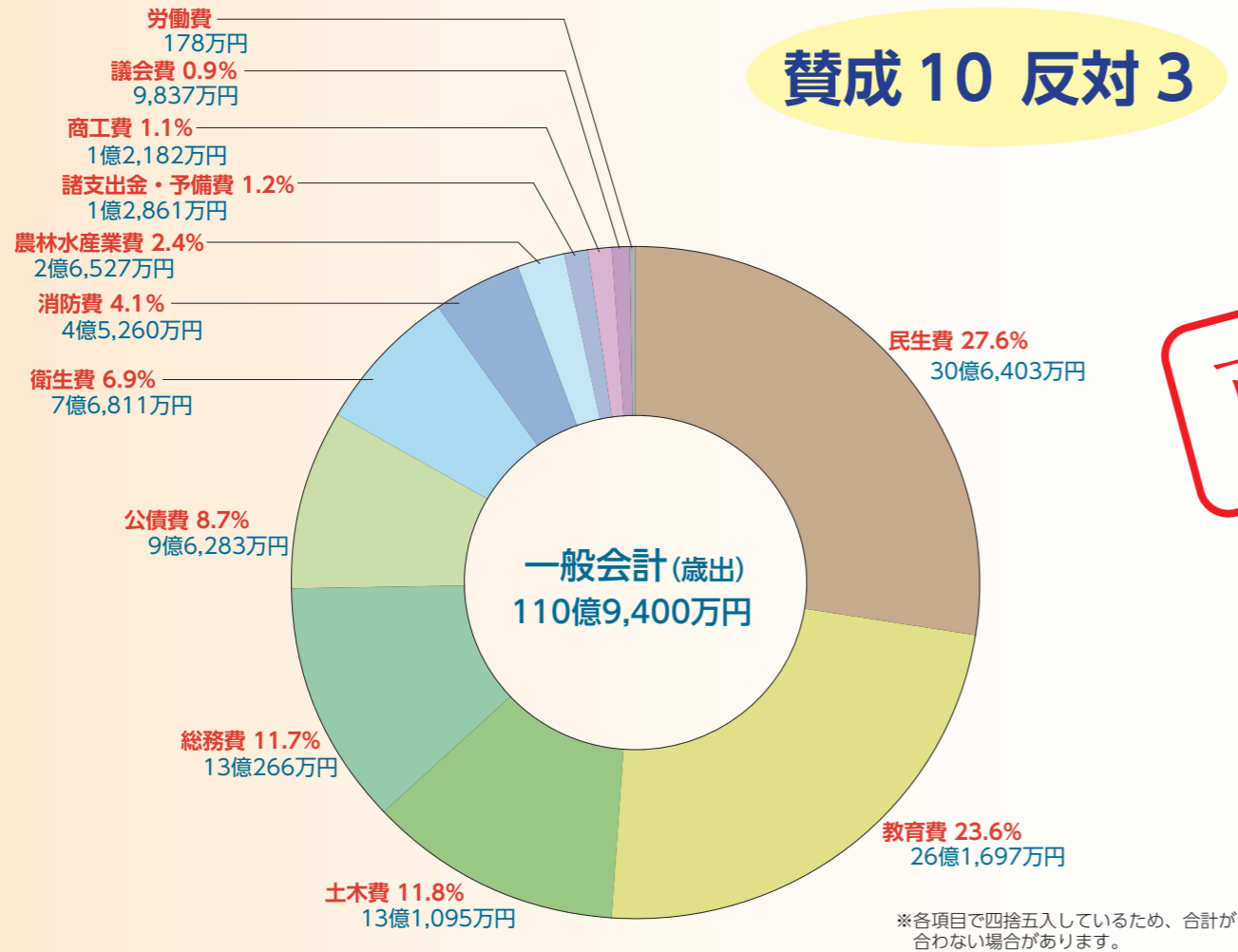


令和4年度一般会計予算

賛成 10 反対 3

可決



主な増減要因

- ・総務費 電算システム開発業務、近江鉄道線活性化再生協議会負担金、ネットワークセキュリティ強化対応機器購入、会計年度任用職員の増等により、総額 92,115 千円の増(+7.6%)となった。
- ・民生費 障害児施設等給付事業、保育補助者雇上強化事業費補助金の増等により、総額 44,304 千円の増(+1.5%)となった。
- ・衛生費 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業、湖東広域衛生管理組合負担金の増等により、総額 74,377 千円の増(+10.7%)となった。
- ・農水費 西部地域土地改良事業の増等により、総額 98,028 千円の増(+58.6%)となった。
- ・土木費 町道愛知川栗田線道路改良工事移転補償費・用地取得費、歌詔橋耐震補強工事に伴う豊郷町建設事業負担金、道路維持補修工事の増等により、総額 208,207 千円の増(+18.9%)となった。
- ・教育費 愛知中学校等大規模増改築事業、給食調理・配送等業務、学校用端末リース料の増等により、総額 563,027 千円の増(+27.4%)となった。
- ・公債費 学校教育施設等整備事業債・合併特例債等の償還開始に伴う元金償還の増により、総額 34,773 千円の増(+3.7%)となった。

一般会計予算は110億9,400万円で、前年度当初予算と比較すると11億2,500万円(+11.3%)の増加となった。

主な増減要因

- ・普通交付税 国の地方財政計画により、臨時財政対策債の総額が減少し、臨時財政対策債振替相当額が減少したことから普通交付税が120,000千円の増(+5.2%)となった。
- ・国庫支出金 愛知中学校等大規模増改築事業の財源である学校施設環境改善交付金、新型コロナウイルスワクチン接種事業の財源である体制確保事業補助金・接種事業負担金、町道愛知川栗田線道路改良事業の財源である社会資本整備総合交付金の増等により、総額 261,619千円の増(+24.6%)となった。
- ・県支出金 西部地域土地改良事業の財源である土地改良事業補助金(西部地域)、参議院議員・県知事・県議会議員選挙事業の財源である市町交付金の増等により、総額 85,229千円の増(+13.0%)となった。
- ・繰入金 基金繰入金については、財源不足を補うため財政調整基金 664,524千円、教育振興基金 53,000千円、合併振興基金 100,000千円、がんばる愛荘町まちづくり基金 70,500千円を取崩す見込である。
- ・地方債 合併特例債、学校教育施設等整備事業債を活用した愛知中学校等大規模増改築事業、公共事業等債・地方道路等整備事業債を活用した町道愛知川栗田線道路改良事業、緊急自然災害防止対策事業債を活用した歌詔橋耐震補強工事に係る豊郷町建設事業負担金、臨時財政対策債等により、総額 170,300千円の増(+12.3%)となった。

重点施策の取り組み

子ども

- ・子育て環境の充実
- ・すこやか子育て
- ・応援事業
- ・子育て安心保育事業

学力向上

- ・教育環境の充実
- ・児童生徒の学力向上事業
- ・子ども読書推進
- ・学校図書館活性化事業
- ・GiGAIPro事業
- ・愛知中学校

健康寿命の延伸

- ・健康寿命延伸応援事業
- ・大規模増改築事業

高齢者の活躍

- ・シルバー世代の働き方改革事業
- ・愛荘町の魅力発信
- ・まちのイメージ
- ・認知度向上事業
- ・ふるさと納税事業

安全で安心なまちづくり

- ・町道愛知川栗田線道路改良事業(移転補償等)
- ・空き家等対策推進事業

持続可能なまちづくりの推進

- ・ウォーカープラタウン
- ・創造事業
- ・地域が元気に輝く
- ・コミュニティ活動
- ・推進事業